

熊本県立第二高等学校 1 学年「国語総合」シラバス（5月18日～5月29日分）

1. 単元 古典「検非違使忠明」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いとその読み方を正しく理解する。 ・古文と現代文の違いを知り、単語や文法を意識して読むことができる。 ・本文中における古語の意味を古語辞典を使って自分で調べることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の展開を正確に読み取る。 ・「検非違使忠明」が救われた経緯と理由を理解するとともに、そこに表れた当時の人々の思いについて考える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典における基礎項目の重要性を理解し、内容の定着のために繰り返し復習に取り組む。 ・古文の内容に興味を持つとともに、必要に応じて古語辞典等を用いるなど、主体的に学習に取り組もうとする。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歴史的仮名遣いのルールを正しく理解し、本文を正確に音読することができる。 ②教科書に示された語注を参考に、本文全体の内容を読み取ることができる。 ③歴史的仮名遣いや語の活用に注意しながら、古語辞典を用いて語句の意味を調べ、正しく理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④単語や文法の持つ意味と果たす役割を意識して、自分なりに口語訳を作ることができる。 ⑤「検非違使忠明」が救われた経緯と理由、そこに表れた当時の人々の思いを本文の表現・文脈に注意して、根拠を持って読み取ることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥新しい知識を積極的に吸収しようとし、不明な点については古語辞典や教科書を用いて自分で調べることができる。 ⑦内容の読み取りにおいて、本文中の表現に基づいて、自分なりの解釈を持つことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	古文入門から「検非違使忠明」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P240～P241を音読する。(5回以上) ・本文したにまとめてある語注を確認する。 ・本文をノートに書写する。 	ノートの提出	① ③
第2回		2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P240～P241を音読する。 ・教科書P242～243「現代語訳のために」と古語辞典 	ノートの提出	② ③ ④

第3回			<p>を用いて、口語訳に必要な文法事項と語句の意味を調べ、ノートに書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた文法事項と語句の意味を参考に、全文の口語訳に取り組む。 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P240～P241を音読する。 2時間目の続きに取り組み、全文の口語訳を完成させる 「検非違使忠明」が救われた理由、「ひとへにこれそのゆるなりとなむ思ひける」に表れた当時の人々の思いを考えてノートにまとめる。 	ノートの提出	③ ④ ⑤	
第4回		4	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリント（休校中の学習課題⑤）に取り組み、歴史的仮名遣い、語句の意味、文法事項等の基礎事項を確認するとともに、内容の読解を進める。 	学習プリントの提出	① ③ ④
第5回		5	<ul style="list-style-type: none"> クラッシーで配信された解答・解説を用いて、学習プリントの答え合わせを行うとともに、間違った部分の訂正や新しくわかった内容を「学習プリント」に書き込む。 教科書P242～P243「現代語訳のために」から「単語の分類」「活用と活用形」「古語辞典の引き方」「現代語訳の注意点」を復習し、復習した内容をノートにまとめるとともに、学習支援動画を視聴して、理解を深める。 	<p>学習支援動画の視聴</p> <p>ノートの提出</p> <p>学習プリントの提出</p>	⑥ ⑦

第二高等学校 1 学年普通科「生物基礎」シラバス（5月30日まで）

1. 単元 (1) 生物基礎を学ぶにあたって (2) 生物の多様性と共通性

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考える。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定を行う。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求める。 DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考えることができる。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定ができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求めることができる。 ④DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第4回	生物基礎を学ぶにあたって	・教科書P13～17, 29を読み、P13, 14, 17の設問を考える。教科書の内容を参考にして、研究ノート問題番号6, 12をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査 今後行う実験のレポート	② ③
第5回	生物の多様性と共通	・教科書P28～33を読み、教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号2, 3, 4をルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④
第6回	性	・教科書P22～27を読み、教科書の内容と既習事項を参考にして研究ノート問題番号1と、P24ウォーミングアップをルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④

第二高等学校 1 学年理数科「理数生物」シラバス（5月30日まで）

1. 単元 (1) 理数生物を学ぶにあたって (2) 生物の多様性と共通性

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考える。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定を行う。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求める。 DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考えることができる。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定ができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求めることができる。 ④DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第3回	理数生物を学ぶにあたって	・教科書P11～12, 18～20を読み、P12の設問を考える。教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号5, 7をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査 今後行う実験のレポート	②
第4回		・教科書P13～17, 29を読み、P13, 14, 17の設問を考える。教科書の内容を参考にして、研究ノート問題番号6, 12をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。		② ③
第5回	生物の多様性と共通性	・教科書P28～33を読み、教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号2, 3, 4をルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④
第6回		・教科書P22～27を読み、教科書の内容と既習事項を参考にして研究ノート問題番号1と、P24ウォーミングアップをルーズリーフ等に解き答え合わせをする。		① ④

第二高等学校 1 学年美術科「生物基礎」シラバス（5月30日まで）

1. 単元 (1) 生物基礎を学ぶにあたって (2) 生物の多様性と共通性

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考える。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定を行う。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求める。 ・DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生物のもつ共通性の由来、多様性の由来について考えることができる。 <p>【観察・実験の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②顕微鏡の正しい操作法、プレパラートの作り方、マイクロメーターによる測定ができる。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③長さの単位を理解し、接眼マイクロメーター1目盛りが示す長さを求めることができる。 ④DNA や ATP、細胞構造などの生物の共通性を理解し、同時に多様性があることを理解できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第3回	生物基礎を学ぶにあたって	・教科書P11～12, 18～20を読み、P12の設問を考える。教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号5, 7をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。	課題提出 定期考査 今後行う実験のレポート	②
第4回		・教科書P13～17, 29を読み、P13, 14, 17の設問を考える。教科書の内容を参考にして、研究ノート問題番号6, 12をルーズリーフ等に解き、答え合わせをする。		② ③
第5回	生物の多様性と共通性	・教科書P28～33を読み、教科書の内容を参考にして研究ノート問題番号2, 3, 4をルーズリーフ等に解き答え合わせをする。	課題提出 定期考査	① ④
第6回		・教科書P22～27を読み、教科書の内容と既習事項を参考にして研究ノート問題番号1と、P24ウォーミングアップをルーズリーフ等に解き答え合わせをする。		① ④

第二高等学校 1 学年「素描」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 円柱の鉛筆デッサン

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆デッサンの特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら、的確に描写する基礎となる技能を身に付けるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円柱の構造や空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆デッサンの可能性を追求する態度を養う。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①鉛筆デッサンの特性について理解を深めるとともに対象を深く観察して表現を工夫しながら、的確に描写する基礎となる技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②円柱の構造や立体感を意識して描写力を高めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③鉛筆デッサンの可能性を追求することができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	円柱物の構造を知る。	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 「ウォームアップ」P33 を読み、円柱の特性を知る。 YouTube の動画を視聴する。 具体的な円柱を作図してみる。 	鉛筆デッサン作品	① ② ③
第 2 回	円柱物の鉛筆デッサン	3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の特性を生かして描写する 光と影、空間、稜線、前後関係などを意識して描写する。 オンラインによる質問受付。 		① ② ③

- 《YouTube》
- 円柱の描き方 [基礎デッサン] 楕円の見方
 - 鉛筆デッサンの描き方 [円柱] 1/2 初心者の方へ
 - 鉛筆デッサンの描き方 [円柱] 2/2 初心者の方へ

第二高等学校 1 学年「美術 I」シラバス（5月18日～5月22日分）

1. 単元 (1)「目を描く」～人物を描く、細密描写～

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体を見つめ、造形的な面白さや、機能との調和のとれた身体の美しさを感じ取り、主題を生成できるようにする。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現形式の特性を生かし、形態や色彩について考え、創造的表現ができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現方法を創意工夫し、主体的に主題を追求し表現する態度を養う。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分の目を観察し、造形的な面白さや、機能との調和のとれた身体の美しさを感じ取り、主題を生成することができる。 ②鉛筆やシャープペンシル・消しゴムの特性を知り、特性を生かして表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③デッサン表現の特性を生かし、形態や色彩について考え、創造的に表現ができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④表現方法を創意工夫し、主体的にデッサン表現に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	休校中の課題② 「目を描く」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P18、19 を鑑賞する。特に P19 右下「観察する眼」を鑑賞する。 ・Classi の動画を確認する。 ・手鏡を用意し、自分の目を観察し、どのような向き、表情にするか考える。 ・鉛筆、シャープペンシル、消しゴム等を使って、目をしっかりと観察しながら描く。おおよその形を描いてみる。 	ワークシート 設問（1）	① ② ③ ④
第2回	休校中の課題② 「目を描く」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・光の方向性、面の向き、目の構造を意識しながら、鉛筆やシャープペンシルの特性を意識しながら、目をしっかりと観察しながら描く。細かい部分まで丁寧に描く。 		

第二高等学校 1 学年「美術 I」シラバス（5月25日～5月29日分）

1. 単元 (1)「透視図法の理解」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透視図法（一点透視、二点透視、三点透視）について理解できるようにする。 表現意図に応じて材料や用具の特性を生かして表現できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 透視図法の特性を生かし、形態や色彩、構成などについて考え、創造的表現ができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現方法を創意工夫し、主体的に透視図法を使った絵画を追求し表現する態度を養う。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 透視図法（一点透視、二点透視、三点透視）について理解できる。 鉛筆やシャープペンシル・消しゴムの特性を知り、特性を生かして表現できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 透視図法の特性を生かし、形態や色彩、構成について考え、創造的表現ができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 表現方法を創意工夫し、主体的に透視図法を使った絵画に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	休校中の課題③ 「透視図法の理解」	1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P17、23 を鑑賞する。 教科書と Classi の動画で3つの透視図法（一点透視、二点透視、三点透視）について、理解する。 すきな透視図法を選び、ワークシートに透視図法を作図してみる。 	ワークシート 設問（1）	① ② ③ ④
第2回	休校中の課題③ 「透視図法の理解」	2	<ul style="list-style-type: none"> 透視図法の仕組みを利用して、自分なりに立体を作図する。 光の方向性、面の向き、立体の構造を意識しながら、鉛筆やシャープペンシルの特性を意識しながら、鉛筆（または色鉛筆で陰影や色をつける。 		